

下呂歴史探訪

山之口
原山官道
萩原山官道
五

おもな見学スポット



位山官道



だんご淵とイワナ



慈雲寺



「下呂歴史探訪」は地域文化について関心や理解を深め、ふるさとを再認識することを目的に開催します。今回は萩原町山之口に残る飛騨と都を結んでいた重要な官道、「位山官道」を探訪します。この機会に地域の歴史に触れてみませんか。

- ◆参加料(当日お支払ください)
大人 1,000円 小・中学生 500円
- ◆定員 40名(先着順)
- ◆締切 11月4日(月)
- ◆雨天決行(雨具は各自ご用意ください)

※バスでの移動と歩く部分があります。歩きやすい服装・靴でご参加ください。

お申込み・お問合せ：下呂ふるさと文化財団 電話 25-5000 下呂交流会館内

主催／(一財)下呂ふるさと文化財団 後援／下呂市教育委員会

くらいやまのせきひ
位山の石碑
代官長谷川庄五郎忠崇は、東山道飛騨支路をしのび、位山峠に「位山」の石碑を建立した。



位山神社

くらいやまじんじゃ
位山神社
慶応4年、飛騨支路第一の名山である位山に創祀された。位山頂上に上社、中腹に中社、現在の社殿の地に下社があったと伝えられている。

くらいやまかんどう
位山官道
大宝律令によって道路制度が制定され、飛騨の官道は都と飛騨を結ぶ重要な道であった。



馬頭さま

だんごぶち
だんご淵
滝の淵でとった魚の腹から団子20個が出てきて、昨夜来られた坊さまはこの淵の主であったかと驚くという民話が伝わっている。



位山の石碑

じうんじ
慈雲寺
本堂のふすまに、江戸中期の画家、丸山応挙の弟子で同郷の名主青木玄章が描いた「鶴」と「虎」の絵が残っている。

昼食(ご希望の方には食事を予約します)

あさんずの橋 **石碑**
上呂より尾崎へと渡る官道の重要な橋であった。

◆各地出発時間(受付けは各15分前)

バスA	バスB
小坂振興事務所 8:45	金山振興事務所 8:15
↓	↓
	下呂交流会館 8:45
	↓
	萩原星雲会館 9:00、開会式
	(午後3時頃終了、山之口 出発予定)